

## 蜂須賀家と阿波踊り

阿波国は徳島県の旧称です。1585 年、武将の豊臣秀吉が蜂須賀家政（1558～1638）に阿波国を与え、初代徳島藩主となりました。秀吉の死後、蜂須賀家は関ヶ原の戦い（1600 年）で勝利を収め、後に将軍となる徳川家康（1543-1616）を支援しました。1615 年の大坂の陣で家康が勝利すると、淡路国（現在の淡路島）を与えられ、一族の地位はさらに高まりました。その結果、四国の大名の中でも最大規模の領地を支配することになりました。

阿波踊りの起源については、1586 年に徳島城が完成した際の祝賀会が起源とする説があります。この説を裏付ける史料は残っていませんが、家政は平民にも宴に参加させて踊りを披露したとされています。公的な蜂須賀家の記録によると、家政の孫で徳島二代藩主の蜂須賀忠輝（1611～1652）は、徳島城の表御殿庭園の舞台に町民を招いて踊るよう誘っていたことが記されています。一族はこれらの舞台を見て楽しんだことがうかがえます。